

芭蕉のさと企画展

甲州俳諧展 — 芭蕉の後継者たち — 第二回

早川石牙・漫々親子二代の俳諧

甲州(山梨県)における俳諧史の展開を見てみると、2つの論理を見出すことができます。一つは、「甲州に対して外部からどのような働きかけが行なわれたか」であり、もう一つは「それに対して甲州でいかなる対応がなされたか」です。

外部から影響を及ぼした俳人としては、天和年間(1681~83)の岸本調和と松尾芭蕉、元文年間(1736~40)の山口黒露・中川宗瑞・佐久間柳居、天明年間(1781~88)の高桑蘭更・加藤暁台などがあげられ、またそれに対応した甲州俳人は、調和の門弟で『俳諧白根嶽』の選者・一ノ瀬調美、谷村藩主秋元家の家老で芭蕉の門弟・高山麁峙、柳居の孫弟子にあたる上矢敲氷、蘭更の門人・五味可都里と早川石牙などです。

また、ここにあげた甲州俳人には、親子あるいは師弟二代にわたって活躍した例が多く、甲州俳諧史においてももうひとつの大きな特徴となっています。

今回の「甲州俳諧展」では、以上のような、甲州俳諧史の進展をつらぬく論理を背景に、俳人としてだけでなく政治的活動においても名を残した早川石牙と漫々の親子に焦点をあてて紹介します。



松尾芭蕉(「俳人百家撰」より)



山口素堂(「俳人百家撰」より)

会 期	11月2日(土)~12月23日(月)まで
開館時間	午前9時~午後4時30分(入館は4時まで)
休 館 日	11月5・11・18・19・25日
観覧料金	
一 般	300円(210円)
高校・大学生	200円(140円)
小・中学生	100円(70円)
	※()内は20名以上の団体料金です。

○今月の寺子屋講座

郷土史講座

「郷土に輝く人々」第5回

「福田俊秀・小沢流彫刻師」

日 時 11月3日(日)

午前10時~11時30分

講 師 福田正人

会 場

ミュージアム都留研修室

○増田誠美術館からのお知らせ

ミュージアム都留分館増田誠美術館では、このたび展示替えを行いました。「芸術の秋」にあわせて「秋」をテーマにした作品を展示しています。どうぞ足をお運びください。

城下町奉行だよりの

『犯罪捜査にご協力を』

昨年の刑法犯認知件数は、約273万6千件と戦後最多を記録しており、犯罪情勢は、厳しさを増しています。

内容的にも路上強盗、ひったくりなどの街頭における犯罪が増加したほか、来日外国人グループによるピッキング用具を使用した侵入盗や暴力団員などによる自動車盗など組織的な犯罪が多発しています。いずれも市民の皆さんに不安を感じさせるものであり、警察では、捜査・防犯の両面からの各種対策を積極的に推進しています。

一方、都市化の進展、人の移動の活性化などの社会情勢の変化に伴う人と人とのつながりの希薄などにより、捜査を取り巻く環境は厳しくなっています。

犯人を検挙し、事件を解決するためには、犯罪捜査に対する市民の皆さんのご理解とご協力が従来にも増して必要になっていきますので、犯罪捜査に対するご協力をお願いします。

MOT
都留市博物館
「ミュージアム都留」
申込・問合せ
☎(45)8008
☎(45)8608